

問題

企業会計原則における損益計算書原則のうち、営業利益、経常利益及び当期純利益について、それぞれ説明せよ。

解答のポイント

損益計算書原則の各利益の説明については、基礎的事項からの出題であり、ある程度記述してもらいたい。具体的にどのような勘定科目が該当するのかを書くことだろう。なお、若干、字数が不足気味であると感じるのであれば、売上原価の計算過程などについて触れてもよいと思われる。

解答例

損益計算書とは、企業の一会計期間における経営成績を明らかにするための財務諸表の一種である。企業会計原則では、「損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、一会計期間に属するすべての収益とこれに対応するすべての費用とを記載して経常利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して当期純利益を表示しなければならない。」と規定している。

営業利益は、一会計期間に属する売上高から売上原価を控除して求めた売上総利益から、さらに、販売費及び一般管理費を控除して算定する。販売費及び一般管理費には、例えば、給料、減価償却費などが該当する。

経常利益は、営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を控除して算定する。営業外収益及び営業外費用には、例えば、利息及び割引料、有価証券売却損益その他営業活動以外の原因から生ずる損益であって特別損益に属しないものが該当する。

当期純利益は、経常利益に特別利益を加え、特別損失を控除して求めた税引前当期純利益から、さらに、当期の負担に属する法人税額、住民税額等を控除して算定する。なお、特別利益及び特別損失には、例えば、固定資産売却損益や災害による損失等が該当する。

以上

(494 字)

TAC 生はココで解けた！

会計学記述対策レジュメ P.77 に、損益計算書に関する点について論述させる問題が掲載されている。